

桜島における義務教育学校 新設に向けた取組

令和4年8月26日
鹿児島市教育委員会

鹿児島市・桜島の位置



鹿児島市の概要

◇つながる人・まち 彩あふれる 躍動都市・かごしま

鹿児島市は雄大な桜島や波静かな錦江湾などの自然に恵まれ、島津77万石の城下町として栄えた歴史情緒にあふれるまちです。

面積：547.6km²

人口：590,224人（令和4年6月1日推計人口）

鹿児島市の教育

【か】 鹿児島市に誇りを持ち

【ご】 これからの時代に必要な生きる力を養い、

【し】 心身ともにたくましく、

【ま】 学び続ける人材を社会全体で育成します。

令和4年度

◇小学校： 79校（1校休校） 32,624人

◇中学校： 39校 16,150人

桜島地域の現況

小学校： 5校 (1校休校中)
 児童数： 124人

中学校： 3校
 生徒数： 65人

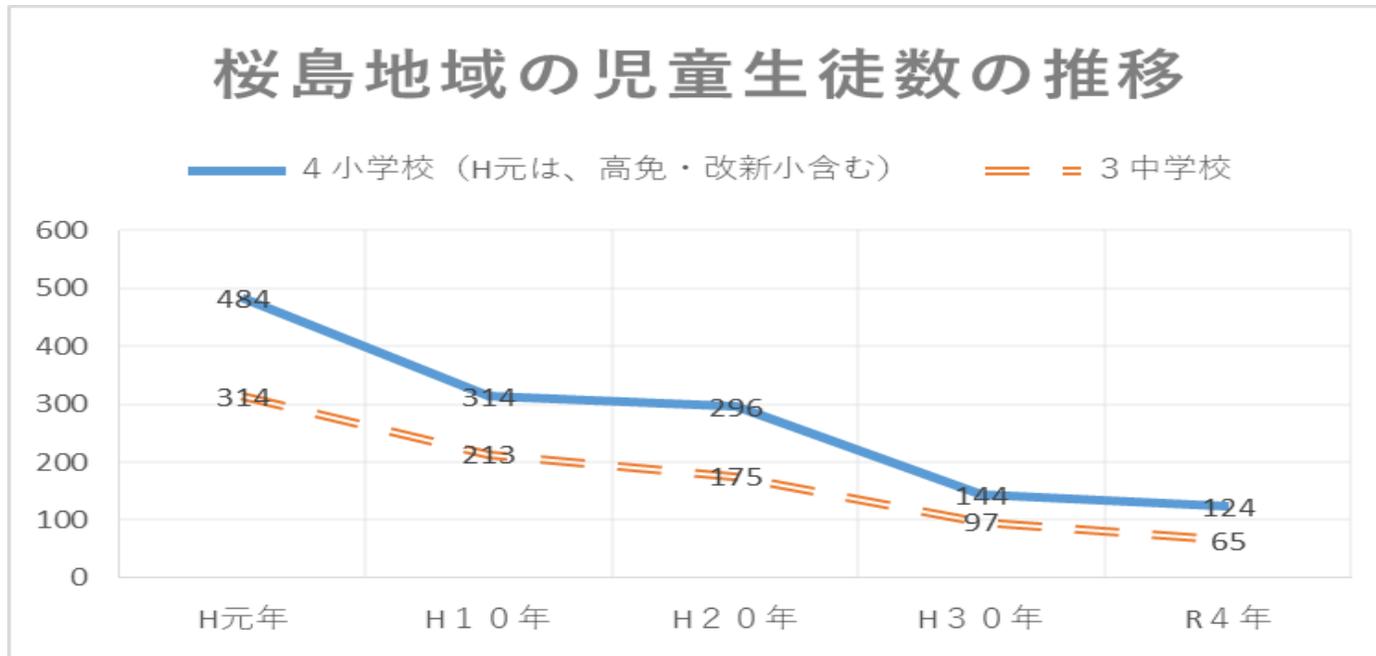


桜島地域の現況とこれまでの推移

令和4年度

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
桜洲小	13	8	5	16	13	7	62
桜峰小	5	4	6	2	2	8	27
東桜島小	4	5	5	4	12	2	32
黒神小	0	0	0	1	0	2	3
高免小	H5から休校中						
4小合計	22	17	16	23	27	19	124

中学校	1年	2年	3年	合計
桜島中	13	18	13	44
東桜島中	5	5	10	20
黒神中	-	1	-	1
3中合計	18	24	23	65



鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適化・適正配置に関する基本方針

平成30年3月に策定

【適正化を検討する範囲】

	H30		R4
11学級以下の小学校 . . .	28校	→	30校
8学級以下の中学校 . . .	12校	→	13校
31学級以上の小・中学校 . . .	2小学校	→	5小学校

・適正化する手立て

①校区の変更

②学校の統合

③小中一貫教育の導入

④学校施設の整備

⑤学校の分離新設

学校規模適正化・適正配置に関する住民説明会

平成30年7月～平成31年1月に実施

過小規模校 32校

過大規模校 3校

適正規模校 24校

合計 59校で開催 1,052人参加

【主な意見】

- ・小規模でも学校は残してほしい
- ・統合は必要なので、保護者や地域の思いを汲みながら進めてほしい。
- ・通学時の子どもの安全面や交通手段の確保、経済的負担の軽減
- ・地域が衰退するので、学校を無くさないでほしい。
- ・地域の活性化を図ることを検討してほしい。

桜島地域の学校統合は、 桜島地域のコミュニティ協議会が主導

【コミュニティ協議会とは・・・】 ※通称「コミュ協」

小学校区単位に設置され、地域住民が地域課題の解決に取り組む、
幅広い団体で組織された地域づくり団体。（市長部局／補助金等支援）
桜島地域には、「5コミュ協」がある。

地域（コミュ協）で
意思統一⇒コア固め！



廃校活用に取り組む



学校関係者（保護者）に
プランを説明⇒共感期待！

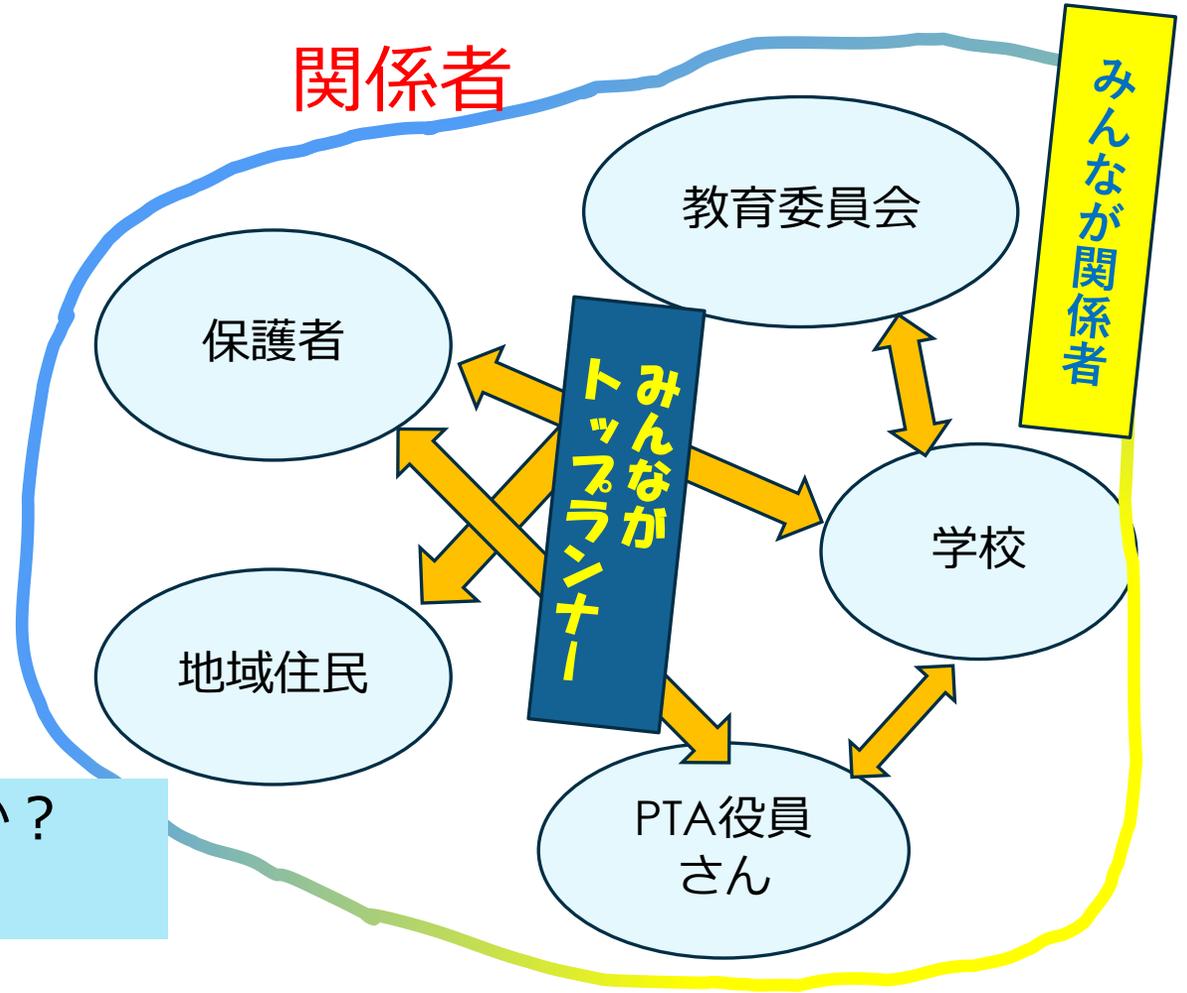


教育委員会に要望⇒熱伝道



なぜ「コミュ協」が発起人か？

これまでも
コミュ協の課題として
話題になっていた！



どの団体が「言い出しっぺ」として最適か？
時間が過ぎていった・・・



「地域の課題の解決に取り組む」
を目的としている**コミュ協の出番！**

桜島地域における経緯

平成30年度

- ・市教委が小学校区単位で「学校規模適正化に関する説明会」を開催

島内5校区とも統合賛成意見が多数だった

令和3年度

コ
ミ
ュ
協

- ・ 7月28日(水) 桜島地域コミュ協事務局連絡会（5地域）「学校規模適正化に関する勉強会」
- ・ 8月18日(水) 5コミュ協合同会議 『桜島の学校規模適正化を考える会』の発会
- ・ 9月14日(火) コミュ協主催：学校規模適正化についての説明会 「各学校・PTA役員さん対象」
- ・ 9月29日(水) コミュ協主催：学校規模適正化についての説明会 「民生委員児童委員の参加」

P
T
A

- ・ 10月16日(土) 桜島の学校規模適正化を考える会 「PTA会員・教職員」（第1回）
- ・ 10月22日(金) 桜島の学校規模適正化を考える会 「PTA会員・教職員」（第2回）
- ・ 11月12日(金) 桜島の学校規模適正化を考える会 「PTA会員・教職員」（第3回）※分散出席

- ・ **11月26日(金)** 学校規模適正化に係るアンケート実施 「幼保小中保護者が対象」

- ・ 11月30日(火) **意思決定会議** 「コミュ協とPTA代表の会議」

- ・ **12月22日(水)** **教育委員会に要望書**

教
委

- ・ 2月 9日(水) 教育委員会が第1回構想説明・意見交換会 「コミュ協・学校・PTA」
- ・ 3月16日(水) 教育委員会が第2回構想説明・意見交換会 「コミュ協・学校・PTA」

P T A 説明会で、コミュ協が伝えたかった事

- (1)古い校舎は「迫られて統合」。先に手を挙げて**主導権を取る**。
- (2)5 コミュ協が、統合に賛成している**このタイミング**で進めたい。
- (3)学校統合を機に「**一つの桜島**」を作りたい。
- (4)子どもたちのため、地域のために、新しい学校には**夢を込める**。
- (5)便利の良い**袴腰周辺**に新しい学校の建設
- (6)**小中一貫教育**、更には保育園・幼稚園も一体的に。
- (7)京大研究所などとの**キャリア教育連携**。
- (8)将来的には支所などの**施設の複合化**を視野に。
- (9)魅力のある学校で、現在の小・中学生約**200人規模を維持**。
- (10)絶対的な**主人公は子ども達や保護者**である。

袴腰周辺に**新校舎**



説明会のプレゼン資料



児童クラブ
幼・小・中一貫校

例) 京都大学などキャリア教育に連携する施設の併設



併設施設を総括し

学校には夢を！

祝R〇年4月開校



pixta.jp - 63038067

コミュニティスクールを
実践する学校

「持続可能」な学校
開校時の200人を維持
・減少数は校区外からの通学生



支所の統合

これからの学校像

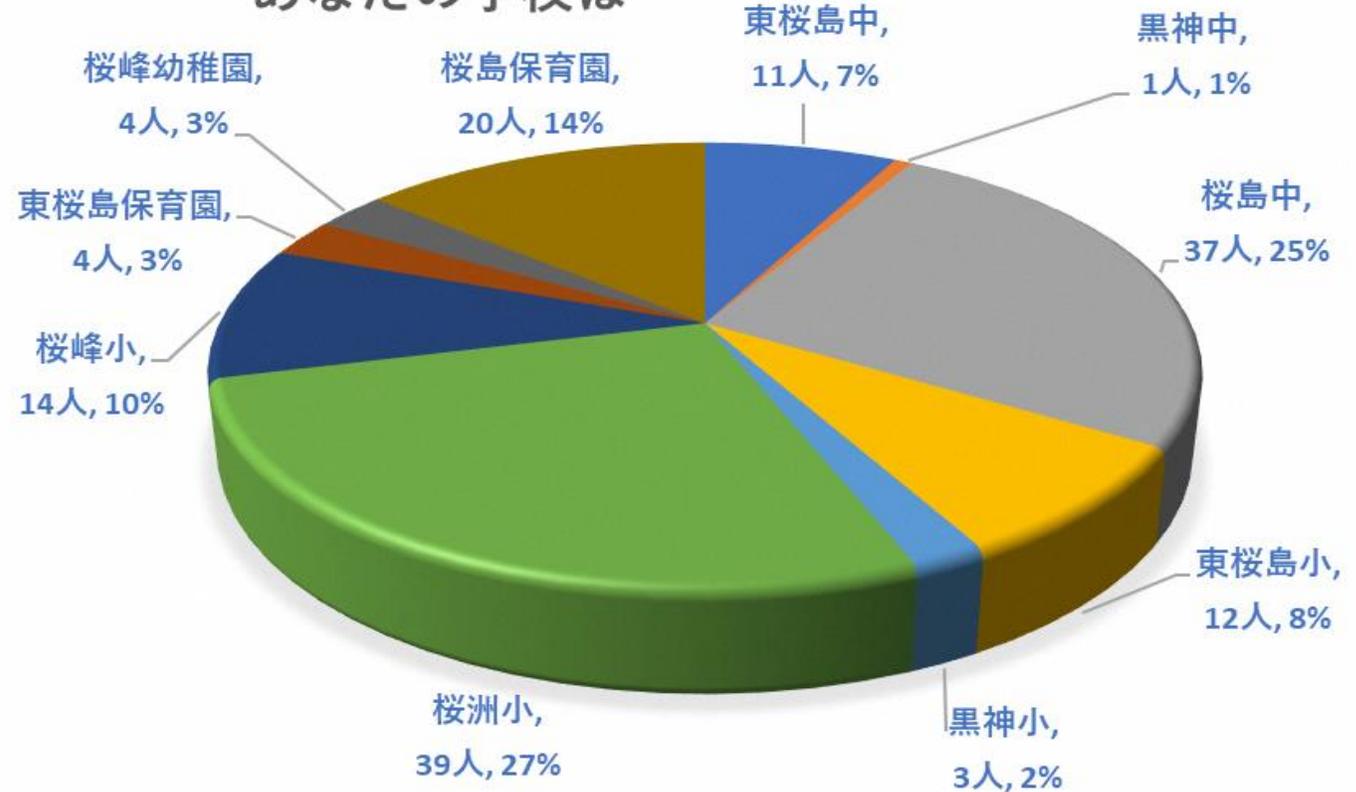
「コミュ協」が学校経営に参加する責任

アンケート結果

あなたの学校は

	P戸数	回答数	構成比
東桜島中	15	11人	7.6%
黒神中	1	1人	0.7%
桜島中	40	37人	26.0%
東桜島小	17	12人	8.3%
黒神小	3	3人	2.1%
桜洲小	49	39人	27.0%
桜峰小	15	14人	9.0%
東桜島保育園	8	4人	2.8%
桜峰幼稚園	9	4人	2.8%
桜島保育園	40	20人	13.9%
計	197	145人	100.0%

あなたの学校は



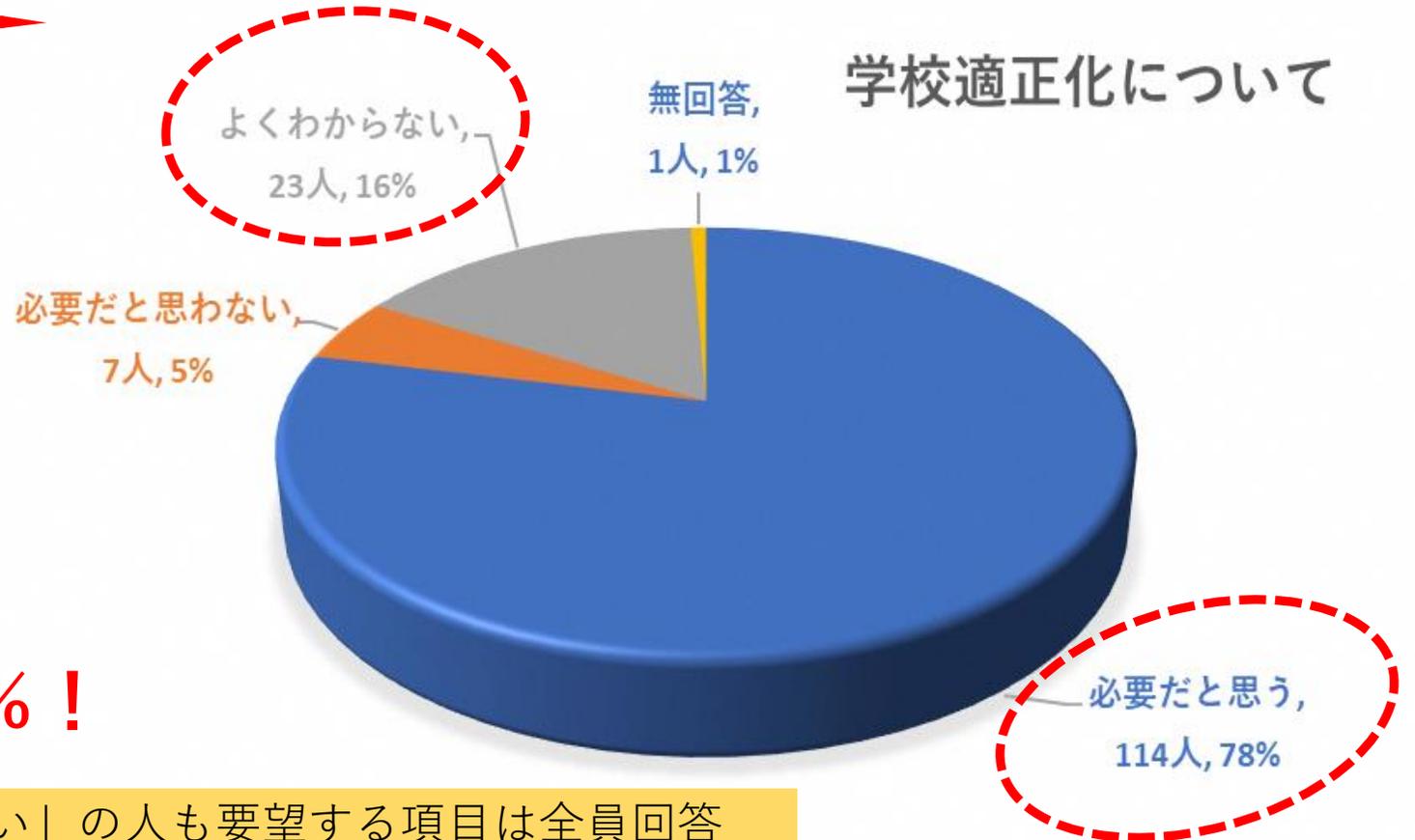
※学校の規模はグラフと類似

小・中では、**84%**の高回答率

アンケート結果

問1 学校適正化について

	回答数	構成比
必要だと思う	114人	78.6%
必要だと思わない	7人	4.8%
よくわからない	23人	15.9%
無回答	1人	0.7%
計	145	100.0%



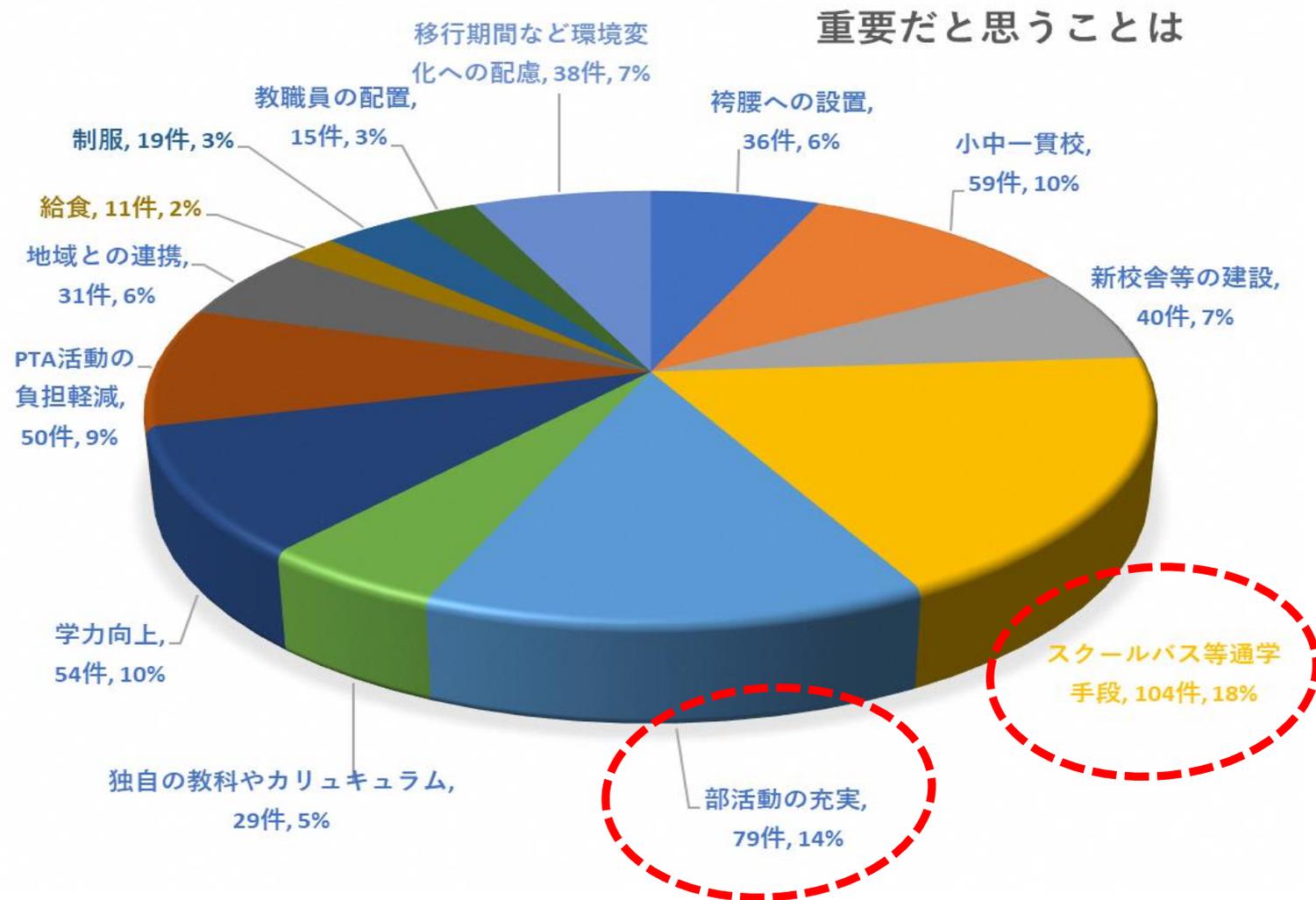
「必要だと思う」
「よくわからない」
あわせて94%!

「よくわからない」「必要だと思わない」の人も要望する項目は全員回答

アンケート結果

問2 重要だと思うこと

	計	構成比
袴腰への設置	36件	6.4%
小中一貫校	59件	10.4%
新校舎等の建設	40件	7.1%
スクールバス等通学手段	104件	18.4%
部活動の充実	79件	14.0%
独自の教科やカリキュラム	29件	5.1%
学力向上	54件	9.6%
PTA活動の負担軽減	50件	8.8%
地域との連携	31件	5.5%
給食	11件	1.9%
制服	19件	3.4%
教職員の配置	15件	2.7%
移行期間など環境変化への配慮	38件	6.7%
計	565	100.0%



「桜島の学校規模適正化を考える会

令和3年11月30日開催

— 意思決定会議 —

出席者：5地域コミュニティ協議会会長

4小・3中学校、2保育園、1幼稚園の保護者代表

桜島支所職員等 **29人参加**

コミュ協がこれまで意見集約をしてきた経過を説明し、『要望書原案』を示して、保護者に賛否を問う

- 1. すべての小・中学校をひとつに統合する意見で一致**
- 2. 市教委に要望書の提出を決定**

【概要】

- 1 休校中を含む島内の小中学校8校を統合し、**義務教育学校として開設**
- 2 プールや付属施設を含め、**新校舎を桜島港ターミナル周辺へ建設**すること。
- 3 児童生徒の安全確保と保護者の経済的負担を考慮し、**無料のスクールバス等を運行**すること。
また、スクールバスの用途に限らず、**住民や観光客の利用を検討**すること。
- 4 「桜島ならではの」の様々な教育資源を活用し、京都大学火山活動研究センターとの連携など**魅力的で特色ある教育**を行うこと。また、特認校制度を運用し、**校区外からも通学可能**にすること。
- 5 「地域とともにある学校づくり」のために**コミュニティスクール**にも積極的に取り組むこと。
- 6 統合までの間の**学校間の連携及び交流**を計画的かつ積極的に行うこと。
- 7 使用されなくなった学校施設及び跡地については、**各コミュニティ協議会が中心となり**地域の活性化につながる**活用策を検討**するので、**市の支援**をお願いしたい。

地域とPTAが「統合」に向かった理由

本音として、住民全体に「児童生徒が少なすぎる
危機感があったことが、全ての始まり。



地政的な背景

「桜島」は、歴史的に**東桜島・西桜島**で行政区が分かれ、H16年市町合併で同じ自治体となったが、**交流は少なかった**。

しかし、H27年にスタートした「コミュ協」は、交流を継続し、**良好な関係**にあったため、**意見のまとめが順調にできた**。

どこに統合されるか……！？（不安とプライド）

どこかに吸収を避け、**新築校舎を島の中心に建設**する方向性を提案したことが**特效薬**。



地域とPTAが「統合」に向かった理由

雰囲気盛り上げ！！

迫られて統合より、**主導権をとろう！**

鹿児島市で**最初の統合校**に、インセンティブが期待できる！

義務教育学校など最新のイメージで、**統廃合に「夢」**を見てもらった！

対立を作らない！

コミュ協を主体に進めてきたが、**主役は子供・保護者・学校**の**原点に回帰**させた。コミュ協は、**廃校跡地の活用検討が命題**とポジション分けをしたことで、越権による摩擦を避けた。

地域・保護者・学校 **すべてが「Winner」**で走り続けている

要望書を受けての教育委員会の動き

- ・ 桜島地域における小中一貫教育検討会（庁内組織）設置
検討会の開催 令和4年1月～3月 3回開催

桜島地域における**義務教育学校の基本構想案**について

- ・ 桜島地域における小中一貫教育**意見交換会の開催**
令和4年2月・3月 2回開催
各コミュニティ協議会、学校職員、保護者等が参加

義務教育学校の基本構想（骨子案）について
整備スケジュールや候補地、義務教育学校について

要望書を受けての教育委員会の動き

- ・ 義務教育学校の設置について決定 令和4年3月22日
- ・ 教育委員会に**学校整備室を設置** 令和4年4月1日
- ・ 予算計上
令和4年度 基本設計・実施設計業務委託
(5年度までの債務負担)
- ・ 桜島地域における義務教育学校**整備検討委員会設置**
令和4年4月7日
義務教育学校の施設整備・設立等に関することを協議

桜島地域における義務教育学校整備検討委員会

委員構成

学識経験者	2名	各地域代表	5名
各小中学校PTA代表	7名		合計14名

委員選出の特徴

- ・ 地域代表、保護者代表で占めている。
- ・ **地域代表として、高校生を一人選出している。**

桜島の小中学校を卒業した、ラ・サール高校の3年生

桜島地域における義務教育学校整備検討委員会

高校生である自分が選ばれた理由（ラ・サール高校3年 中村祐一郎）

- 意見交換会に積極的に参加するなど、学校の新設への興味を持っていた。
- これまでに学校の部活（地歴部）を通して桜島のアピールを行ってきたほか、桜島の観光紹介の冊子を作成し、地域の活性化についても考えていることを周りの人たちも理解していた。
- 自分が島内の小中学校を卒業しており、母校が廃校になるのは寂しいものの、後輩たちのためにできることをやりたいと考えていた。

→ 住んでいる地域から代表として推薦され、選出された。



委員として心がけていること

- ・ 高校生の視点での意見をはっきりと伝えること。
- ・ **高校生が代表だからこの地域の意見が反映されなかったと言われないように活動すること。**
- ・ 地域への報告会を開催して整備検討委員会の会議内容を逐一報告し、地域の意見を市教育委員会に伝えること。

地域での報告会の様子

整備検討委員会の内容を、地域に持ち帰り報告しているところ。
質問に対して回答し、確認が必要な事項については、学校整備室に問い合わせた後に回答した。



今後に向けての抱負

- ・ 受験勉強、学校生活と整備検討委員会の活動の両立
- ・ 今後学校の基幹部分を決める会議が続くので積極的に意見を出す。
- ・ 高校生を委員として承認してくださった方々への感謝を忘れず、学校づくりに直接関われる**貴重な社会経験を通して、様々な面で成長できるようにする**。

桜島地域における義務教育学校整備検討委員会

第1回 令和4年4月18日

基本構想（骨子）についての協議

第2回 令和4年5月13日

基本構想（案）が提示される。

各委員との質疑応答があり、内容について各地域に持ち帰って協議

地域からの意見があった場合は事務局に報告

第3回 令和4年5月31日

地域からの意見を基に一部修正した基本構想（案）を了承

第4回 令和4年8月10日

設計委託のプロポーザルについての進捗状況の報告

校名についての意見交換会についての報告及び今後の進め方について決定

開校までのスケジュール

令和 4 年度											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
基本構想			設計プロポーザル			基本設計					
▲設計変更期限											
令和 5 年度											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実施設計											
令和 6 年度											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入札・契約						建設工事					
令和 7 年度											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
建設工事									引越し等		
令和 8 年度											
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
開校	外構工事										

開校までの進め方

基本設計について

プロポーザルで設計業者を募集（募集資格は最低限に設定）

全国12者からの提案があり、1次審査で4者を選出

29日にプレゼンテーションによる2次審査で決定

決まった業者と、保護者や地域の方々等と、具体的な設計についてのワークショップを開催予定

開校までの進め方

校名、制服等、校歌、校章、地域開放など

- ➔ **意見交換会を開き**、決定方法等について広く意見を聞き、参考意見として整備検討委員会へ提案

学校のカリキュラム等

- ➔ 教師も含めた**専門部会を作り**、検討を進める。

まとめ

子ども達のために、より良い教育環境をどのように確保していくのかを第一に考えて検討し、保護者を中心に統合への理解が得られた。

各学校は並列の関係及び利害関係者でもあることから、主導者の誕生は難しく、**地域コミュニティ協議会が主体**となったことで話が進んだ。

地域の代表と行政をつなぐ存在として、**桜島在住の市職員がそれぞれの立場を理解したうえで間に入る**ことで、協議を円滑に進めることができた。